

業界大手はサービスの普及に注力

SFビルサポート



保証課長 グループリーダー
川名 庸一氏

オフィス・店舗の事業

用賃貸保証に特化するSFビルサポート(東京都中央区)は、6月に同社前年度の実績をまとめたデータブックの完成を発表した。

データブックは昨年4月〜今年3月までの契約実績、月額賃料、敷金・保証金、貸主様内訳等の様々な集計データを掲載した資料である。平成21年(2009年)から毎年制作しており、当社保証を利用するビルオーナー等に提供し好評を得ている。保証事業課課長の川名庸一氏は「テナントの『入居理由』も掲載されており、前々年度発行に依頼すること

のデータブックと今年完成したデータブックを比較することで、『増床に伴う入居・移転が増加している』等、賃貸市場の動向を知ることができると語る。

昨今、SFビルサポートでは大手企業からの依頼が増加しており、「入念な審査力」、「滞納時の対応」と「原状回復工事費用を含む手厚い保証内容」が依頼増加の決め手と考えている。

様々な統計データをまとめたデータブックの完成を発表

で、企業の財務状況の分析を含め事務所の現地確認といったオーナー目線での審査を行い、入居前の不安解消や将来性を考えた審査を行うことが出来る。また、万一借主が滞納した場合でも、明け渡しまでも、明け渡しまでの賃料や共益費、水道光熱費の認知度を高めていくための原状回復工事費用も含む保証を制作する同社。今後、実施する。限度額が、毎年データブックの18カ月分あり、強制執行まで至ったケースでも最後まで保証可能である。この原状回復工事費用まで含む保証が好まれる要因である。川名氏は「年々、賃貸保証サービスの知名度、良い機会でもある。

また川名氏は「データブックに興味を持たれたら、お気軽にご連絡ください」とも語り、データブックの普及にも注力している。今後のビル経営に役立つと思われるデータブックを一読する